

岩手県議会議員

軽石よしのり

スクラム通信

第11号



「友愛」の精神に基づき、「信義」を大切にし、
安心・安全・安定の3つの安らぎの
実現をめざします。

発行月：令和2年2月 | 住所：盛岡市紺屋町7-6 | FAX：019-622-6537
発行者：軽石義則事務所 | TEL：019-624-6116 | H P：https://karunet.jp/

夢を
希望に

現場力
の発信

ごあいさつ

令和の時代となり初めてのお正月も穏やかに過ぎ2年目を迎えました。皆様には日ごろから私の議員活動に対しまして特段のご高配を賜り衷心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

また、昨年9月に施行されました岩手県議会議員選挙は、大変厳しい戦いでありましたが、皆様の力強いご支援により、三期目となる議席を継続することが出来ました。当選後の臨時議会におきまして、所属常任委員会は、所管変更により新たに設置をされた『商工建設委員会』となりました。加えて、岩手県議会選出の岩手県監査委員に選任をいただきました。

監査委員の役割としては、岩手県の執行機関や出資団体などに出向き、業務監査を行うこととなります。県議会定例会の閉会中に日程が組まれ、現場の皆様から生の声をお聞きしております。議会で議論した予算が執行されている状況を確認することにより、議員としての活動にも役立つことを実感しております。

今後とも皆様とこれまで以上に結束を強くし、県政発展のため『現場力の発信』を基本に、精進努力を積み重ねていく決意でございます。つきましては、今後とも私の活動における目的達成のために、変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、本年『庚子』は私の年でもあり、今年が皆様にとってご健勝にて幸せな一年でありますことをご祈念申し上げあいさつといたします。

軽石よしのり 生年月日：昭和35年8月27日

議会役職：令和元年9月より商工建設委員会/議会運営委員会委員/岩手県監査委員/産業振興・雇用対策調査特別委員会委員/東日本大震災津波復興特別委員会委員

プロフィール



令和元年 12月
定例会一般質問

12月定例会・一般質問より

1 自然災害からの復旧・復興について

- (1) 土砂災害危険箇所について
- (2) 工事従事者の確保について
- (3) 災害廃棄物の処理について
- (4) 三陸鉄道の復旧について
- (5) 災害復旧対応の人員体制について
- (6) 防災減災対策について

7 避難指示について

避難指示を確実に県民に届け、確実な避難行動に結びつけるため、どのような対応をしているのか伺う。

【回答】総務部長 避難指示（緊急）の発令等にあたって、市町村では、防災行政無線やIP電話などを活用し、それぞれの地域事情に応じて、きめ細かく情報提供を行っているほか、住民に迅速かつ効果的に斉配信する「エアポート」を活用し、テレビ・スマートフォン等を通じて情報提供も行っている。

今後、災害時に県民等の避難が迅速に行われるよう、防災知識の普及啓発や自主防災組織の活動の活性化を図り、地域防災力の一層の強化に取り組む。

要支援者の避難について、避難行動要支援者名簿の作成状況とその活用方法について伺う。

【回答】保健福祉部長 本年5月1日現在、避難行動要支援者名簿は県内全市町村で策定されており、その総数は85,589人で、前年同期から4,166人の増となっている。この名簿は、平常時から消防、警察、民生委員、市町村社協、自主防災組織などの避難支援等関係者が情報共有することで災害に備え、避難情報等が発令された際には、要支援者への着実な情報伝達と早い段階からの避難の支援に活用する。

2 いわて県民計画

(2019～2028)の推進について

- (1) 復興事業の進捗状況について
- (2) 次期ふるさと振興総合戦略について

3 地球温暖化対策について

知事は先日の記者会見で、2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すと表明された。地球温暖化対策についての知事の決意を伺う。

【回答】知事 近年、世界各地で発生している異常気象は、気候変動が一因と指摘されており、地球温暖化対策の重要性が高まっている。

令和2年度に策定予定の次期若手県環境基本計画に、当該計画期間を超えた目標として、「2050年温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を掲げたいということをして11月27日の記者会見において表明した。脱炭素社会の実現に向けて、県民総参加による地球温暖化対策に取り組みたい。

4 部局再編について

3 ラグビーワールドカップ2019™ 釜石開催とスポーツ振興について

- (1) ラグビーワールドカップ2019™ 釜石開催の意義について
- (2) ラグビーワールドカップ2019™の経済波及効果について
- (3) 経験を今後活かす取組について

4 パスリレーとナミビア対カナダ戦について

台風の影響で、盛岡マチナカパスリレーの知事によるトライがされていない。同じく中止になったナミビアとカナダの試合を待ち望んでいる声も多くあるが、この提案についてどのように受け止めるか

【回答】知事 県民ワンチームで繋いできたラグビーワールドカップへの想いが込められたボールを、釜石の地にトライすることは、多くの県民の願いであると受け止めている。今後、釜石鶴住居復興スタジアム等で実施されるメモリアルイベントなどの機会を捉えて、改めて「トライセレモニー」を実施することができるよう、釜石市や若手県ラグビーフットボール協会等と検討を進めていきたい。ナミビア対カナダ戦については、対戦を待ち望む声も、県内はもとより、日本中から多く寄せられ期待が高まっていると感じる。実現に向けてどのような方法を進めていけばよいか、釜石市をはじめ、若手県ラグビーフットボール協会と連携し、日本ラグビーフットボール協会とよく相談していきたい。

4 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への対応について

- (1) 組織委員会等の取組とその対応について

2 県民参加の取組について

子供たちにはオリンピック行事に参加することにより、記憶として次の世代につなげることが出来ると考えますが、このことに対する取組も伺う。

【回答】〔文化スポーツ部長〕 聖火ランナーは、3日間で約280人程度が想定され、組織委員会から本県に対して割り当てられた66人について、20人を超える中・高生を含めた候補者を組織委員会に報告した。

県内全市町村の中・高生たちのメッセージを刻んだ復興フェスティバルの展示、3000人を超える県内小・中・高生の無料観戦招待、復興祈念植樹なども計画している。多くの県民が世界最大のスポーツの祭典を身近に感じ、経験できる機会を提供できるよう取り組んでいく。

(3) パブリックを契機とした取組について

5 バリアフリーの推進について

(1) バリアフリーの現状について

障がいのある人もない人も高齢者も安心して暮らせる岩手にするためには、まちなかのバリアを改善していく必要があるが、このような現状について、知事としての取り組みを受け止めているのか伺う。

【回答】〔知事〕平成21年3月に、ひとこやさいいまちづくり条例に基づく推進指針を策定し、安全に安心して利用できる施設等の整備や、人を思いやることのできる「心」の醸成などに継続的に取り組んできた。

一方で、希望郷いわてセンターに対するアンケート調査の結果から、多くの県民が条例や指針を認知しておらず、バリアの存在を感じていない状況がある。障がいのある方々からも、車いすでも支障なく移動できるように、道路や公共交通機関におけるバリアの解消や、障がい者用設備の適正な使用の徹底などに関する意見をいただいた。

県では今年度、令和2年度から5年間の新しい推進指針の策定を進めており、意識啓発に関する新たな施策を盛り込んだ。すべての人が個人として尊重され、自らの意思に基づいて自由に行動し、あらゆる分野の活動に参加する機会が確保される社会の実現を目指し、取り組んでいく。

(2) 今後の取組について

6 産業振興について

(1) 岩手県の産業構造について

(2) 中小企業への支援について

地場中小企業においては福利厚生面に対する支援が手薄ではないか。現状をどのように認識しているか。また、これらに対する支援について伺う。

【回答】〔商工労働観光部長〕県では、岩手労働局と連携し、助成制度の活用を促してきた。これまでに保育費用や住宅取得への助成等、福利厚生面の充実に向けた企業の取組を「いわて働き方改革アワード」において表彰し、広く普及啓発を図るとともに、今年度からは「人材確保・定着部門」を新たに設け、企業の労働環境の改善等を働きかけている。

今後も、国の助成制度の活用や企業の働き方改革の取組を促進し、労働環境の整備を支援していく。

7 雇用労働対策について

(1) 新卒の就職状況について

(2) 外国人労働者について

外国人労働者雇用実態調査の結果について、どのように今後活用していくのか伺う。

【回答】〔商工労働観光部長〕岩手県国際交流協会が県内3,000事業所を対象に、外国人労働者の雇用実態や日本語学習支援の取組、今後の雇用見込み等を調査し、11月29日に結果が公表された。

調査結果の詳細な分析はこれからだが、継続雇用を求めた事業所では、外国人労働者の希望や生活上の問題により離職や雇止めに至ったケースが多く、外国人労働者からは、言葉の問題や人間関係、給与面等の不満の声もあつたとされている。

現在、調査結果のフォローアップのため、外国人労働者雇用企業へのヒアリングを行っており、岩手県国際交流協会をはじめ、関係機関と連携を図りながら、本県において外国人が安心して働き、暮らすことができる環境整備に向けて必要な取組を検討していく。

(3) 悪質フレームへの対応について

8 岩手医科大学附属病院の移転後の状況について

(1) 移転後の対応について

(2) 移転後の現状について

(3) 今後の対策について

A 店舗などへの影響について

移転に伴う内丸地域周辺の店舗など業務への影響が開始されている。地域の関係者から状況調査をすることも必要ではないか。今後の地元店舗などの不安解消に向けた対応について伺う。

【回答】〔商工労働観光部長〕盛岡市、盛岡商工会議所からは、医大移転後に周辺駐車場の稼働率の低下や通行量の減少が見られ、周辺店舗の営業にも影響が生じていると聞いている。県は、売上や集客に不安がある事業者に対しては、経営指導員による相談対応や、専門家による指導などで支援していく。

I 岩手医科大学附属病院跡地活用の検討状況について

これまでの岩手医科大学附属病院跡地活用の検討状況とスケジュールについて示す

【回答】〔政策地域部長〕今年度は、他県の医学部移転後の跡地活用に係る先進事例調査などを行っており、今後の議論の参考とすることとしている。跡地活用検討会議において、多くの意見もあることから、今後のスケジュールも含め引き続き関係者と連携して検討を進める。

釜石大会への道

ROAD to KAMAISHI 2019



釜石での試合が実現する日を迎えました

ラグビーワールドカップ 2019™ 岩手・釜石開催は、多くの皆様のご支援により実現しました。東日本大震災津波からの復旧復興へのご支援に感謝するとともに、力強く立ち上がった姿を国内外に発信することが出来ました。フィジー VS ウルグアイ戦のキックオフの瞬間は涙が溢れ出てしまいました。ナミビア VS カナダ戦は台風により中止となりましたが、両国の選手がボランティア活動により県民に元気をくれました。今後はRWC2019™の経験を活かし、沿岸地域振興につなげる取り組みが必要です。まずは中止となった試合が実現できることを目標に、県民運動として盛り上げていきたいと思います。



活動の一部を写真で紹介します。



2019.10.20 イーハトーヴとっておきの音楽祭 もりおか



2019.12 財務省への要望活動



2019 盛岡気象台の調査



2020.01 商工建設委員会現地調査 (徳田橋)



2020.01 議会運営委員会県外調査 (富山県、石川県)



2020.01 産業振興・雇用対策調査特別委員会県内調査 (北良株)



2019.12.19 商工建設委員会県内調査
北上災害公営住宅

ご意見・ご要望をお聞かせください

FAX、公式サイトからのフォームでご意見・ご要望を受け付けております。お気軽にお寄せください。

TEL 019-624-6116
FAX 019-622-6537
<https://karunet.jp>

軽石よしのり 検索



軽石義則の最新情報はSNSでも！



Facebook

@Yoshinori Karuishi
@karuishi_y



Twitter

県議会から 監査委員に 選出されました

令和元年9月26日より、岩手県の監査委員として活動しています。

